

【活動の主題】 学習における図書・情報の活用
【副題】 特別展示「いま身につけておきたい知識」

【学校名】 滋賀県立 玉川高等学校

1 本校の概要

本校は、1983年に草津市に開校しました。平安時代の歌にも詠まれた由緒ある地「野路の玉川」に位置し、6階建ての校舎からは草津市街や琵琶湖を望むことができ、豊かな自然と都市の利便性を兼ね備えた立地の魅力です。

全日制の普通科で、現在は各学年8クラスを有する大規模校として、多様な生徒が学び合う環境が整っています。開校以来、「自律・友愛・進取」を校訓に掲げ、「将来に展望をもち人間性豊かで自立した学習者を育てる」ことを教育目標としています。生徒一人ひとりが主体的に学び、互いに切磋琢磨しながら成長できる場を大切にしています。

部活動も盛んで、運動部・文化部ともに活発に活動し、全国大会に出場するクラブもあります。国公立・私立大学への進学者も多く、生徒は勉強と部活動を両立させ、充実した高校生活を送っています。

2 取り組んだ内容

(1) 特別展示「いま身につけておきたい知識」



助成により充実させた資料は、「情報活用」「ICT スキルアップ」「世の中のしくみ」「新書」などです。1・2年生が総合的な探究の時間でテーマ設定や問題解決に取り組むことに合わせ、2学期にこれらの図書を「いま身につけておきたい知識」と題して展示しました。

(2) 総合的な探究の時間（1・2年生）

2学期から3学期にかけて、1年生は個人探究、2年生はグループ探究に取り組みます。テーマは多岐にわたり、レポート作成や発表には、著作権への配慮、情報の収集・信頼性判断、目的に応じた活用・発信が求められます。こうした力を養うため、著作権や ICT スキルアップに役立つ資料を展示し、必要な時に活用することを促しました。1年生の導入では、「著作権理解と図書館利用」と題し、ガイダンスを行いました。他教科の授業での図書館利用の際にも簡単なガイダンスを行い、その内容には、展示した資料が役立っています。生徒は興味や課題に応じて資料を活用しました。

(3) 3年生の利用

2学期は大学受験における推薦入試の時期です。図書館資料は面接や小論文対策に役立ち、最新の社会問題や基礎知識、志望学部に関する専門知識を得るために多くの生徒が利用しました。展示資料も一部の生徒に有効であり、新書は小論文の参考として毎年教員から推奨されています。

3 活動の成果

「情報活用」「ICT スキルアップ」に関する資料の充実には、生徒だけでなく教員にも有益でした。その他の資料も、生徒が疑問を持ったときや生活で困ったときに、学校図書館がすぐに支援できる体制を整えることにつながりました。今後も探究学習や大学受験など、さまざまな場面で活用していきたいと考えています。